

昭和十九年九月九日

奉勅傳宣

參謀總長

梅

津

美

治

郎

關東軍總司令官

山

田

乙

三

殿

第一方面軍司令官

山

下

奉

文

殿

第五軍司令官

清

水

規

矩

殿

臺灣軍司令官

安

藤

利

吉

殿

第三十二軍司令官

牛

島

滿

殿

77

大陸命第千百二十七號

命

令

命令

一、左ノ部隊ヲ第一航空軍ノ編組ヨリ除キ第八飛行師團編合ニ編入ス  
 飛行第十戰隊（司 偵）  
 二、左ノ部隊ヲ第三十二軍戰隊序列ヨリ除キ第八飛行師團編合ニ編入  
 ス

第三十九航空地區司令部

三、第一航空軍司令官ハ第一項ノ部隊ヲ臺灣ニ派遣シ臺灣軍司令官ノ  
 隷下ニ入ラシムヘシ

四、臺灣軍司令官ハ獨立飛行第十六中隊ヲ内地ニ調ラシメ該所屬ニ復  
 歸セシムヘシ

五、九月十四日現時以降大連命第千四百四號ニ依ル飛行第十戰隊ノ一  
 部ニ對スル第八方面軍司令官ノ指揮ヲ解ク

六指揮隊編移ノ時機ハ第一、第四項ノ部隊ニ在リテハ夫々内地、  
臺灣飛行場（港澤）出發ノ時、第二項ノ部隊ニ在リテハ九月十四  
日零時トス

七細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年九月十三日

奉勅傳宣 參謀總長 梅津美治郎

第八方面軍司令官 今村均殿

防衛總司令官 松本重光殿

臺灣軍司令官 安藤利吉殿

第三十二軍司令官 牛島滿殿

第一航空軍司令官 李王根殿

大陸命第千二百二十九號

命令

一、特設警備大隊及特設警備工兵隊ノ隷屬ヲ別紙ノ如ク定ム  
 二、編成管理官ハ第一項ノ部隊ヲ夫々防衛總司令官、第五方面軍司令官、朝鮮軍司令官、臺灣軍司令官及關東軍總司令官ノ隷下ニ入ラシムヘシ

三、餘屬轉移ノ時機ハ其編成完結ノ時トス  
 四、細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年九月十六日

奉勅傳宣

參謀總長 梅 津 美 治 郎

左 記 宛

防衛總司令官 東部軍司令官 西部軍司令官

關東軍總司令官 中部軍司令官 第五方面軍司令官

朝鮮軍司令官 留守第三師團長 留守第四師團長

臺灣軍司令官 留守第五十三師團長 留守第三十師團長

第三十二軍司令官 留守第五十四師團長 留守第二十師團長

關東防衛軍司令官 留守第五師團長 樺太兵團長

留守近衛第二師團長 留守第五十六師團長 下關要塞司令官

留守第五十七師團長 留守第六師團長 釜山要塞司令官

留守第二師團長 第七師團長 濟水要塞司令官

留守第五十一師團長 第七十七師團長

留守近衛第二師團長ノ部下ニ入ル部隊

特設警備第六十四乃至第六十九大隊 (甲)

第十九乃至第二十七特設警備工兵隊

(東部軍司令官)  
(東部軍司令官)

留守第五十七師團長ノ部下ニ入ル部隊

第九乃至第十一特設警備工兵隊

(東部軍司令官)

留守第二師團長ノ部下ニ入ル部隊

第十二、第十三特設警備工兵隊

(東部軍司令官)

留守第五十一師團長ノ部下ニ入ル部隊

第十四乃至第十八特設警備工兵隊

(東部軍司令官)

留守第三師團長ノ部下ニ入ル部隊

第九乃至第十二特設警備工兵隊

(中部軍司令官)

留守第五十三師團長ノ部下ニ入ル部隊

第一百十三、第一百十四特設警備工兵隊

(中部軍司令官)

留守第四師團長ノ部下ニ入ル部隊

第一百十五特設警備工兵隊

(中部軍司令官)

第一百十八特設警備工兵隊

(中部軍司令官)

留守第五十四師團長ノ部下ニ入ル部隊

第一百十六、第一百十七特設警備工兵隊

(中部軍司令官)

留守第五師團長ノ部下ニ入ル部隊

第二百五、第二百六特設警備工兵隊

(西部軍司令官)

下關要塞司令官ノ部下ニ入ル部隊

第二百七特設警備工兵隊

(西部軍司令官)

留守第五十六師團長ノ部下ニ入ル部隊

第二百八乃至第二十一特設警備工兵隊

(西部軍司令官)

留守第六師團長ノ部下ニ入ル部隊

第二百十二乃至第二百十七特設警備工兵隊

(西部軍司令官)

樺太兵團編成中ノ第三十警備隊編成ニ編入スル部隊

第三百一乃至第三百三特設警備工兵隊

(第五方面軍司令官)

第七師團編成中ノ第三十二警備隊編成ニ編入スル部隊

第三百六特設警備工兵隊 (第五方面軍司令官)

第七師團編成ニ編入スル部隊

第三百五特設警備工兵隊 (第五方面軍司令官)

第三百七特設警備工兵隊 (第五方面軍司令官)

第七十七師團編成ニ編入スル部隊

第三百四特設警備工兵隊 (第五方面軍司令官)

第三百八乃至第三百十特設警備工兵隊 (第五方面軍司令官)

留守第三十師團長ノ隷下ニ入ル部隊

第四百一、第四百二特設警備工兵隊 (朝鮮軍司令官)

留守第二十師團長ノ隷下ニ入ル部隊

第四百三乃至第四百五特設警備工兵隊 (朝鮮軍司令官)

釜山要塞司令官ノ隷下ニ入ル部隊

第四百六、第四百七特設警備工兵隊 (朝鮮軍司令官)

麗水要塞司令官ノ隷下ニ入ル部隊

第四百八特設警備工兵隊 (朝鮮軍司令官)

臺灣軍戰鬥序列ニ編入スル部隊

第五百七乃至第五百十八特設警備工兵隊 (臺灣軍司令官)

第三十二軍戰鬥序列ニ編入スル部隊

第五百一乃至第五百六特設警備工兵隊 (第三十二軍司令官)

關東防衛軍ノ編組中ノ第五百一警備隊編成ニ編入スル部隊

第六百一特設警備工兵隊 (關東軍總司令官)

關東防衛軍ノ編組ニ編入スル部隊

第六百二乃至第六百六特設警備工兵隊 (關東軍總司令官)

關東防衛軍ノ編組中ノ關東州警備隊編成ニ編入スル部隊

第六百七特設警備工兵隊 (關東軍總司令官)

「註」下段括弧内ハ編成管理官ヲ示ス

大陸命第千百三十號

右陸軍 千三百三十八号

命 令

一、別紙ノ部隊ヲ天々第十四方面軍、臺灣軍及第三十二軍戦闘序列ニ編入ス

二、勤員管理官ハ前項部隊ヲ夫々此津資、臺灣及南西諸島方面ニ派遣シ新所屬指揮官ノ隷下ニ入ラシムヘシ

三、隷屬轉移ノ時機ハ本州、九州港灣出發ノ時トス

四、細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年九月二十二日 奉勅傳宣 參謀總長 梅津美治郎

南方軍總司令官 伯爵 寺内壽一 兼

第十四方面軍司令官 黒田重徳 兼

臺灣軍司令官 安藤利吉 兼

84

留守第五十七師團長	留守第五十六師團長	留守第五十五師團長	留守第五十四師團長	留守第五十三師團長	留守第五十二師團長	留守第五十一師團長	留守第五師團長	留守第四師團長	留守第三師團長	留守第二師團長	留守近衛第二師團長	船橋司令官	第十二軍司令官
吉田	池田	秋山	柳川	秋山	井闕	白根	長谷川	高野	中山	青木	物部	佐伯	牛島
基太郎	兼二	義公	義隆	義隆	義方	美代次	直	直	成	成	長	文	海
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿

別紙

- 一、第十四方面軍戰團序列ニ編入スル部隊
  - 海上挺進第十一、第十二、第十三戰隊 (船組司令官)
  - 海上挺進第十四、第十五、第十六戰隊 (塔組司令官)
  - 海上挺進第十七、第十八戰隊 (塔組司令官)
  - 海上挺進第十九、第二十戰隊 (船組司令官)
  - 第二、第三海上挺進基地隊本部 (船組司令官)
  - 海上挺進基地第十一、第十二、第十三大隊 (留守近衛第二師團長)
  - 海上挺進基地第十四、第十五、第十六大隊 (留守第二師團長)
  - 海上挺進基地第十七大隊 (留守第五十一師團長)
  - 海上挺進基地第十八大隊 (留守第五十二師團長)
  - 海上挺進基地第十九、第二十大隊 (留守第五十七師團長)
- 二、臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊
  - 海上挺進第二十一、第二十二、第二十三戰隊 (船組司令官)
  - 海上挺進第二十四、第二十五戰隊 (船組司令官)

- 第四海上挺進基地隊本部 (船組司令官)
    - 海上挺進基地第二十一、第二十二大隊 (留守第三師團長)
    - 海上挺進基地第二十三、第二十四大隊 (留守第四師團長)
    - 海上挺進基地第二十五大隊 (留守第五十三師團長)
  - 三、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊
    - 海上挺進第二十六、第二十七、第二十八戰隊 (船組司令官)
    - 海上挺進第二十九、第三十戰隊 (船組司令官)
    - 第五海上挺進基地隊本部 (留守第五十四師團長)
    - 海上挺進基地第二十六、第二十七大隊 (留守第五十五師團長)
    - 海上挺進基地第二十八大隊 (留守第五師團長)
    - 海上挺進基地第二十九大隊 (留守第五師團長)
    - 海上挺進基地第三十大隊 (留守第五十六師團長)
- 「註」括弧内ハ動員管理官ヲ示ス

大陸命第千百三十九號

命令

一、別紙第一及第二ノ部隊ヲ夫々臺灣軍、第三十二軍、小笠原兵團戰  
 闘序列及臺灣軍戰闘序列中ノ第五十師團、第六十六師團編合及東  
 部軍司令官ノ隷下ニ編入ス  
 二、編成管理官ハ別紙第一ノ部隊ヲ臺灣方面ニ派遣シ臺灣軍司令官ノ  
 隷下ニ入ラシムヘシ  
 三、豫備轉移ノ時機ハ別紙第一ノ部隊ニ在リテハ其本州、九州諸港出  
 發ノ時、別紙第二ノ部隊ニ在リテハ其編成完結ノ時トス  
 四、編成ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年九月二十二日

奉勅傳宣 參謀總長 梅津 美治 郎  
 防衛總司令官 杉 修 王 廣 下

臺灣軍司令官	安 泰 利 吉 殿
第三十二軍司令官	牛 島 滿 殿
東部軍司令官	藤 江 惠 輔 殿
小笠原兵團長	柴 林 思 道 殿
第五十師團長	石 本 貞 直 殿
第六十六師團長	北 川 一 天 殿
中部軍司令官	飯 田 祥 二 郎 殿
西部軍司令官	下 村 定 殿
留守第五師團長	長 谷 川 美 代 次 殿
留守第五十三師團長	秋 山 義 隆 殿
第一百九師團長	柴 林 思 道 殿

別紙第一

一 臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊

第三十一野戰防疫給水部

(東部軍司令官)

第三十二野戰防疫給水部

(中部軍司令官)

三 臺灣軍戰團序列中ノ第五十師團編合ニ編入スル部隊

第五十師團兵器勤務隊

(西部軍司令官)

第五十師團衛生隊

(留守第五師團長)

第五十師團第一野戰病院

(留守第五師團長)

第五十師團第四野戰病院

(留守第五師團長)

三 臺灣軍戰團序列中ノ第六十六師團編合ニ編入スル部隊

第六十六師團兵器勤務隊

(中部軍司令官)

第六十六師團衛生隊

(留守第五十三師團長)

第六十六師團第一野戰病院

(留守第五十三師團長)

一 註「下段括弧内」ハ編成管理官ヲ示ス

別紙第一

一、臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊

第十方面軍野戰兵器廠 (臺灣軍司令官)

第十方面軍野戰貨物廠 (臺灣軍司令官)

三、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊 (第三十二軍司令官)

獨立重砲兵第百大隊 (第三十二軍司令官)

野戰作井第二十中隊 (第三十二軍司令官)

三、小笠原兵團戰團序列ニ編入スル部隊 (第百九師團長)

野戰作井第二十一中隊 (第百九師團長)

四、東部軍司令官ノ隷下ニ入ル部隊 (東部軍司令官)

獨立野戰重砲兵第百大隊 (東部軍司令官)

「註」下段括弧内ハ編成管理官ヲ示ス

大陸命令千四百四十四號

命令

一、別紙第一ノ別紙ヲ夫々第三十二軍戰團序列、南方軍戰團序列中ノ

第一通信隊編成、第四航空軍戰團序列中ノ第二航空通信隊編成ニ編入ス

二、第四通信隊編成別紙第二ノ如シ

三、別紙第三ノ部隊ヲ夫々東部軍司令官及中部軍司令官ノ隷下ヨリ除

キ南方軍戰團序列中ノ第一通信隊編成ニ編入ス

四、陸軍總司令官及勳員管理官ハ第一、第二、第三項部隊ヲ南西諸島

、臺灣及南方方面ニ派遣シ第十方面軍司令官、南方軍總司令官ノ

隷下ニ入ラシムヘシ

五、臺灣島ノ南端ハ第一、第三項部隊ニ在リ、ハ其内地及南洋支港

に出發ノ時トス

又第四通信隊ノ編成及南方軍司令部ノ部下ニ人ル時夜ハ第四通信隊本部ノ編成又陸軍出立ノ時トス  
 大細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム  
 昭和十九年九月二十七日  
 參謀總長 梅 津 美 治 郎  
 奉 勅 旨 宣

- |          |         |
|----------|---------|
| 防衛總司令官   | 松 本 正 義 |
| 南方軍總司令官  | 寺 内 壽 一 |
| 第十方面軍司令官 | 安 藤 利 吉 |
| 東部軍司令官   | 江 藤 滋 吉 |
| 中部軍司令官   | 飯 田 洋 二 |
| 第三十二軍司令官 | 牛 島 滿   |
| 第三十七軍司令官 | 山 崎 正 隆 |
| 第四航空軍司令官 | 富 水 恭 次 |
| 滿東軍總司令官  | 山 田 乙 三 |

別紙第一

一、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊

獨立有線第三百二十六、第三百二十七中隊 (獨逸海軍司令部)

獨立無線第三百三十一、第三百三十二小隊 (獨逸海軍司令部)

二、南方軍戰團序列中ノ第一通信隊編成ニ編入スル部隊

獨立無線第三百三十小隊 (獨逸海軍司令部)

三、第四航空軍戰團序列中ノ第二航空通信隊編成ニ編入スル部隊

獨立無線第三百二十二乃至第三百二十九小隊 (獨逸海軍司令部)

「註」下段括弧内ハ勅員管理官ヲ示ス

大陸命第四百四十三號

命令

一、第十一通信隊編成ヲ令シ且之ヲ第十方面軍戰團序列ニ編入ス

編成別紙第一ノ如シ

二、第十二通信隊編成ヲ令シ且之ヲ第三十二軍戰團序列ニ編入ス

編成別紙第二ノ如シ

三、第三通信隊編成ヲ令シ且之ヲ第二十九軍戰團序列ニ編入ス

編成別紙第三ノ如シ

四、左ノ部隊ヲ第三軍ノ編組ヨリ除キ南方軍戰團序列中ノ南方軍兵站部編成ニ編入ス

第六野戰輸送司令部

第三軍司令官管理

五、勅員管理官及獨逸海軍總司令部ハ獨立有線第三百二十八、第三百二十九

中隊及第四項部隊ヲ臺灣、南方方面ニ派遣シ天々第十方面軍司令

官及南方軍總司令部ノ轄下ニ入ラシムヘシ

六 森 時 移ノ時 候ハ 第一、第二項部隊ニ在リテハ十月十日零時、第  
 三項部隊ニ在リテハ第三通信隊本部 勳員完結ノ時、第四項部隊  
 通信隊編成ニ入ルヘキ部隊ニシテ當時未々本州、九州及滿鮮支  
 隊ヲ出發シテアラサル部隊ニ在リテハ其本州、九州及滿鮮支  
 隊ノ時トス

七 細 項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム  
 昭和十九年十月四日

奉勅傳宣 參謀總長 磯 津 美 治 郎

- |          |             |
|----------|-------------|
| 關東軍總司令官  | 山 田 乙 三 殿   |
| 南方軍總司令官  | 寺 內 壽 一 殿   |
| 第一方面軍司令官 | 喜 多 誠 一 殿   |
| 第七方面軍司令官 | 土 肥 原 賢 二 殿 |
| 第十方面軍司令官 | 安 藤 利 吉 殿   |
| 第三軍司令官   | 根 本 博 渡     |

第二十九軍司令部 石 燕 貞 敏  
第三十二軍司令部 牛 島 滿 敏

別紙第一

第三十二通信隊編成

長 第三十二軍通信隊長

第三十二軍通信隊

電信第二十七聯隊第五中隊

獨立有線第六中隊

獨立有線第二百二十六、第二百二十七中隊

獨立無線第一百小隊

獨立無線第一百三十三乃至第一百三十六小隊

獨立無線第三百三十一、第三百三十二小隊

〔註〕下段括弧内ハ動員ノ編成ノ管轄官ヲ示ス

(第三十二軍司令部)

(關東軍總司令部)

(關東軍總司令部)

(關東軍總司令部)

(關東軍總司令部)

(西邵軍司令部)

(關東軍總司令部)

大陸命第四百四十六號

命令

一、左ノ部隊ヲ第十二飛行師団に編合ヨリ除キ朝鮮軍司令官ノ轄下ニ入  
ラシム

第四十五航空地區司令部

第四百四十五飛行場大隊

第四百七十一飛行場大隊

第四百八十一飛行場大隊

二、左ノ部隊ヲ朝鮮軍司令官ノ轄下ニ入ラシム

第五百五十三特設飛行場設定隊

第五百五十四特設飛行場設定隊

三、左ノ部隊ヲ第五航空軍戦術序列ニ編入ス

第五百五十五特設飛行場設定隊

第五百五十六特設飛行場設定隊

陸軍航空部 長官 管理  
陸軍航空部 長官 管理  
陸軍航空部 長官 管理  
陸軍航空部 長官 管理

第五百五十七號飛行場設立

四左ノ部隊ヲ十方面軍ニ移入ス

第五野戦航空隊

五左ノ部隊ハ昭和十九年三月三十一日ニ第五野戦航空

修理廠ノ四時講成ヲ以テ第一、第三獨立修理廠

第八野戦航空修理廠ノ第二獨立修理廠

六左ノ部隊ヲ第一航空軍ノ編成ヨリ除キ第十二飛行師團編成ニ編入ス

第五十七飛行場中隊

七防衛總司令部、第一航空軍司令部及陸軍航空本部長ハ第一乃至

八防衛總司令部、第六項ノ部隊ヲ天々新所編成ノ下ニ入ラシムヘシ

時、第二、第三項ノ部隊ニ在リテハ内地海軍出發ノ時、第四項ノ  
 部隊ニ在リテハ編成完結ノ時トス  
 九細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム  
 昭和十九年十月六日

奉勅傳宣 參謀總長 海軍 美治 郎

防衛總司令官 松本 王 殿下

朝鮮軍司令官 板垣 征四郎 殿

第十方面軍司令官 安藤 利吉 殿

支那派遣軍總司令官 畑 俊六 殿

第三十二軍司令官 牛島 滿 殿

第一航空軍司令官 寺 崎 殿下

第五航空軍司令官 下山 廣 殿

陸軍航空本部長 菅 原 道 大 殿

大正九年十月二十八號

命令

一 別紙ノ部隊ヲ天々第二航空隊ノ機組、第五航空隊機組序列、機  
 十、第十一、第十二飛行師團編合、第三十二航空隊機組序列及訓練  
 官司令官ノ部下ニ編入ス

二 各編成管理官ハ第一號ノ部隊ヲ天々新編航空隊管理官ノ部下ニ入ラ  
 シムヘシ

三 陸軍部ノ時機ハ天々編成管理ノ時トス

但シ前項ヨリ明確又ハ支那ニ派遣スルニ在リテハ前條又ハ  
 前支那境迄ノ時、別紙第四、第五條中ノ飛行機設定隊ニ在  
 リテハ十一月一日零時、別紙第六條ノ部隊ニ在リテハ内地港頭  
 出發ノ時トス

四 總領ニ關シテハ參謀部長ヲシテ指示セシム

95  
21

昭和十九年十月二十三日

奉勅宣 參謀 海軍 美治部

第五十一號飛行師團長	第十一飛行師團長	第十飛行師團長	第五航空司令官	第二航空司令官	第一航空司令官	第三十二號司令官	朝陽司令官	第十方面軍司令官	防衛總司令官	支那總領事司令官	海軍軍務司令官
松岡	北島	吉田	下川	坂本	菅野	牛島	坂垣	坂垣	坂垣	坂垣	坂垣
陸	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海
陸	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海
陸	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海	海

別紙

一 第二航空軍ノ編組ニ關入スル部隊

第五十航空地區司令部 (第二航空軍司令官)

第百九十六飛行場大隊 (第二航空軍司令官)

二 第五航空軍機隊序列ニ關入スル部隊

第四十八航空地區司令部 (第五航空軍司令官)

第百九十七飛行場大隊 (第二航空軍司令官)

三 第十飛行師團編合ニ關入スル部隊

第四十六航空地區司令部 (第五十一教育飛行師團長)

第百八十七飛行場大隊 (第十飛行師團長)

四 第十一飛行師團編合ニ關入スル部隊

第四十七航空地區司令部 (第五十一教育飛行師團長)

第百九十飛行場大隊 (第十一飛行師團長)

第百九十八飛行場大隊 (第十一飛行師團長)

五 第十二飛行師團編合ニ關入スル部隊

第三十野戰飛行場設定隊 (陸軍航空本部長)

六 第三十二電隊機隊序列ニ關入スル部隊

第二十九野戰飛行場設定隊 (陸軍航空本部長)

七 朝鮮軍司令部ノ部下ニ入ラシムル部隊

第四十九航空地區司令部 (第二航空軍司令官)

第百九十一飛行場大隊 (第五十一教育飛行師團長)

「註」下段新編内ノ編成等諸官ヲ示ス

97

大後命第四百八十四

命 令

一 左ノ部隊ヲ海十方面軍司令部ニ編入ス  
中道隊第四大隊 留守第五十三師團長等

二 左ノ部隊ヲ第三十二師團司令部ニ編入ス  
中道隊第五大隊 留守第六十四方面軍司令部等

三 左ノ部隊ヲ第十四方面軍司令部ニ編入ス  
東部隊司令官等

四 島方面ニ派遣シ南方軍司令部ニ編入ス  
五 島方面ニ派遣シ南方軍司令部ニ編入ス